

平成30年度 卒業式式辞

木々の芽もふくらみはじめ、春の息吹が感じられる今日の佳き日、平成30年度卒業証書授与式を挙げていただきましたところ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました354名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、本校の校風・校是「自由と創造」「日新日進」のもと、本校の教育目標である「強靱な知性」「みずみずしい感性」「品格ある人間性」に沿って、日々の勉学や行事、そして、部活動など、弛まない研鑽の日々を積み重ね、本日、晴れて卒業の日を迎えました。そして、平成30年、創立100周年を迎えた本校の歴史に、皆さんは新たな歴史の1ページを刻みました。

3年前の入学式の日から今日まで、共に学び、励まし、語り合い、苦楽をともにした友達や先生方、そして学校ともいよいよ別れ、本校を巣立つ時がきました。皆さんの胸に刻まれた、本校の様々な思い出の一つひとつは、皆さんのバックボーンとなり、生涯、皆さんを支えてくれるものと確信いたします。

今、皆さんが手にした卒業証書は、皆さん一人ひとりの努力によって得られたことはもちろんですが、その陰には、深い愛情を持って見守って下さったご家族、先生方、友達、そして、本校創立以来ご支援をいただいている多くの人たちの励ましや支えがありました。このこともしっかりと胸に刻み、感謝の気持ちを忘れることなく、今後一層の精進を積み重ねられることを期待いたします。

さて、皆さんが生きていくこの21世紀は大きな課題を多数抱えています。少子高齢化の進行、グローバル化に伴う国際競争の激化、人工知能やロボットの発達による産業構造の変化など、将来の予測が不透明で困難な時代です。輝く未来を創っていくには、答えの見えない課題に対しても、意欲的に取り組む姿勢、自ら気づき、自ら考え、自ら行動することが必要となります。志を高く掲げ、明確な目標を持って三年間を過ごしてきた皆さんは、これらのことを本校で学び、実践的、創造的に社会の諸問題に立ち向かう力を培ってきました。私はこの一年間、本校で皆さんと生活を共にし、高津生一人ひとりが、磨けば光る素晴らしい個性や特性があることを確信しました。皆さん一人ひとりが、無限の可能性を秘め、限らないパワーを有していることを決して忘れず、高津高校の卒業生として、自信を持って、これからの未来を切り開いていってほしいと思います。

皆さんの輝かしい門出を祝して、幻の詩人とも言われている「サミュエル・ウルマン」が書いた「青春」という詩の一部を紹介します。サミュエル・ウルマンは1840年生まれのアメリカの実業家で、詩人、教育者でもあります。サミュエル・ウルマンが70代の頃に書いた「青春」という詩は、アメリカの雑誌「リーダーズ・ダイジェスト」に掲載され評判となり、その後、ダグラス・マッカーサーや松下幸之助が座右の銘に使用したことなどから、日本でも広く知られるようになりました。

では、「青春」の詩の一部を紹介します。

青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。
優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、
安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。

.....

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる。
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

.....

松下幸之助は、この詩を自分自身が覚えやすいように次のように要約し、みずからの座右の銘としました。

青春とは心の若さである
信念と希望にあふれ、勇氣にみちて日に新たな活動を続けるかぎり
青春は永遠にその人のものである

この言葉にあるように、信念を失うことなく、自信に溢れ、希望をもって果敢に物事に挑戦する。たしかにそういう人こそ青春を生きているといえるでしょう。

皆さんには、この詩にあるように、生涯「青春」であり続けてもらいたいと思います。これからの長い生涯、つねに夢を持ち続け、今日よりは明日、明日よりは明後日（あさつて）と、常に努力を続けてください。強い思いをもって努力すれば、必ず夢は実現します。ただ、その道のりは決して容易なものではありません。失敗が連続することもあるでしょう、挫折感を味わうかもしれません。一日一日の行動は同じことの繰り返しで、その変化はなかなか見えてこないかもしれません。しかし、その努力の積み重ねが三年後、十年後、数十年後には、大きな違いとなって必ず現れてきます。夢を持ち続け、皆さん一人ひとりの個性や特性を発揮し、人のため、社会のために、力を尽くしてもらいたいと心より願っています。

そして、一方で、21世紀は、命を大切にする心、感謝や思いやりの気持ち、自然や宇宙に対する畏敬の念など、人間としての心を益々大切にしなければならない時代になると思います。これからの長い人生を生きる皆さん一人ひとりが、お互いに思いやり、感謝し、そして、お互いの人格を尊重する、そんな社会を、是非、築いてほしいと思っています。夢を持ち続け、そして、感謝や思いやりの心を持った社会人に皆さんがなられることを願ってやみません。

最後になりましたが、卒業生の保護者の皆様におかれましては、卒業の日を迎えたお子様の成長した姿に、感慨もひとしおかと、心よりお祝い申し上げます。そして、この三年間、本校教育活動へご理解ご支援をいただきましたことに、教職員を代表して、深く感謝申し上げます。誠に有り難うございました。

それでは、卒業生の皆さんの前途を祝し、今後の限りないご活躍とご発展を心から祈念

して、式辞といたします。

平成31年2月28日

大阪府立高津高等学校 校長 山崎 晃昭